

## 第4回富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成21年6月18日 午後7時  
場所 富山公民館 講義室

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 委嘱状交付
5. 委員紹介
6. 平成20年度検討委員会報告
7. 議事
  - (1) 幼稚園及び小学校再編の推進方法について
  - (2) 小学校現地見学について
  - (3) 第5回検討委員会の日程について
  - (4) その他
8. 閉会

## 第4回 富山地区学校再編検討会議 議事録

平成21年6月18日(木) 午後7時

富山公民館 講義室

記録者 小磯 英明

満平 恒一

欠席 佐藤委員

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

本地区は、平成19年度に策定された市の学校再編計画の第1期再編地区です。第1回会議で統合の合意を得た。校舎老朽化の問題は今後とも話し合う。当面はどちらかの学校を使う。校舎新築までは待てない。ということで話し合いを進めてきた。

### 3. 教育長挨拶

昨年度の3回の会議に引き続き、4回目の会議。新委員にはそれぞれ引継ぎもあっただろうが、経過説明の時間も取る。

### 4. 委嘱状交付

### 5. 委員紹介

### 6. 平成20年度検討委員会報告

資料をもとに、事務局より説明

### 7. 議事

委員長 本日の出席者18名。過半数を超えているので会議は成立する。

第1号議案「幼稚園及び小学校再編の推進方法について」を議案とする。事務局より説明を求める。

事務局 資料により説明。学校再編の推進方針。検討委員会の組織。地区への推進イメージを説明。

施設整備の扱いが難しい。積極的な意見は欲しいが、少人数の解消、適性規模の編制を第一とし、既存施設を利用する。施設整備と再編は分けて考えたい。

委員長 質問意見があればどうぞ。特にないようだがよろしいか。

事務局 先ほど申し上げたが、「統合と施設整備をいっしょに」という意見も昨年度はあったが、統合と整備は分けた再編を進めたいという説明を行った。そのように進めたいが、いかがか。

委員 「富山地区にある2つの小学校は古い。新築＝統合で進めるように」と区長会で前区長から引き継いでいる。我々は意見を聞きながら、自分たちの意見を述べていきたい。

ワザンバー 再編の意図はわかるが、よりよい教育環境の指針とは、どのようなことを目標としているのか。子どもが少ないということへの対応のことか。

事務局 まず、子ども達の学習環境を最優先。施設も含まれるが、建設には3年以上必要になる。施設担当からも説明した通り。学校再編している中で、整合性を図ろうと検討もしているが、極端に少なく、集団の学習ができないという学習環境の整備を推進していく。施設についても、安全確保と合わせて進めることを検討したい。

ワザンバー よりよい学習環境とは？教育委員会がどのように判断しているのか、わからないままでは話し合えない。

事務局 ひとつには複式学級の解消。平群小学校ではH23年まで見ると今の4年生が6年生になった時に、2つの複式学級の発生が懸念される。1の学年ごとの学習編成を維持したい。これはよりよい学習環境の一つと考える。

ワザンバー 集団の人数、複式解消というのはわかった。施設が別とはどういうわけか。

事務局 施設の整備には、既設建物の調査、場所の検討、設計業務等、建設の着工から完成まで多年度必要であることから、統合の推進と施設整備の推進は別々に検討協議していきたい。

小学校施設の現状では、市内の施設状況の中で岩井、平群は40年経過している。今後、施設整備計画を策定していく中では、優先順位は高いと考えられる。

統合の推進と施設整備の推進は別々に分けて検討協議していただきたい。

ワザンバー 教育環境をよりよいものにと願って話を終わる。

委員 意見がない場合には、岩井小か平群小かどちらかで学ぶということか？

事務局 事務局ではそう考えている。どちらかの学校が新しい学校になる。

委員 2つの小学校、1つの中学校がかなり古い。「古い校舎を使って」ということで反対があった。確かに人数は少ないが、他地区ほど減っていない。古い校舎ということで不安があり、平群と岩井が一緒になることに反対というのではない。3校とも古い。どちらかを使うというのでは納得がいかない。選択肢の一つに新築というのではないのか？

事務局 校舎建設を具体的には申し上げられない。古いことは認識している。施設の

整備は最優先と考えられる。

今の校舎を使って、統合を推進していきたい。施設整備については、先々何もしないという考えではない。

委員長 建設の要望はしながら、当面はどちらかの学校で再編を行っていく考え方もある。建設は別途要望して行くということも含めて検討したらどうか。

委員 統合よりも建設に時間がかかるというなら、かかるものを先にした方がよいのでは。

委員長 この会は、校舎建設委員会ではなく、学校の再編について検討する委員会だと考える。

委員 昨年度もずっと同じ要望を出している。年度が変わって進んでいるか。

委員 この会が始まってすでに1年経っている。同時進行で、要望は要望としてではなく、どのように動けば両方が進むのか、提案して欲しい。

統合はしたいと保護者は思っている。

ワグザバー 新校舎を作るのかどうか、この会議で決めれば議会の議案に上がってくるはず。この場でどうするか、今のままで何年間かやっていくか、決めてもらわないと、議会での話し合いに入っていくかない。

このまま人数が減れば、富浦と一緒に心配がある。富浦は新しい。この地区に学校を残したい。個人的にはトップクラスの施設を作りたい。学校統合を前提として建設してもらおう。この場で、皆さんの意見を出して、執行部を動かさなければ議会は動けない。市は5年以内に作るのか、約束できないか。

教育長 一存では答えられない。平成19年度の方針を決める検討会議で、市全体の構想について話し合った。財政のこと、子どもの学力、複式学級、市内はほとんどが小規模校。1～10のレベルの1のレベル。これを引き上げたい。寺子屋学習はできるが、国際化社会の中では集団の中での問題解決力、コミュニケーション力が必要。小規模校ではできない。運動もできない。

当初は小学校、中学校の再編計画を具体的に検討協議したが、中学校については、旧町村地区を越えた学区編成が必要となることから、幼稚園・小学校における課題を解消するため、まず、幼稚園・小学校からという実施計画が出され再編を推進している。

校舎建設について、この場での結論は出せない。この検討委員会は、学校の再編に係わる地区の意見具申の会であり、決議する会ではない。市内の公立学校等の施設整備に関しては、議会にもかけるが、その前に執行部内で方針を決定しなければならない。

ワグザバー 小学校も40～46年経っている。5年以内でも50年経つ。今から作るといえば、執行部が出せば議員は賛成し、解決はつく。当面はどちらかでよいが。

教育長 15年くらいこのままだと処分制限期間になる。

委員 今度立てるなら富山地区が最初だという事務局の話はわかった。我々は、学校の再編について検討している。自分の考えは、両校の児童が一緒になって学習する環境を早く提供してやりたい。そのための議論は、停滞させたくない。保護者の方々が、再編について基本的に賛成ならば、次に建てるのは富山地区だということまで、総論としての方針を出して頂き、校舎建設については、それで回答として欲しい。検討委員会は、再編の協議を進めることが大事。

教育長 人数を増やすことが必要。小中一貫校では人数は増えない。解決できない。良さは連携。

中学を含んだ連携計画は立てていない。3～5年先にずれ込む。2つの学校を一緒にする改修費用はつける。何千万か。校舎はきれいになる。

委員 小学校の子ども達にとって、できれば少しでも早く一緒になる方がよい。反対の意見を言ったわけではない。少しでもよい環境で過ごさせてやりたい。5年以内くらいに建てられるように進めて欲しい。

教育長 市内で、富山地区をやれば、これから他も全部建てなければならなくなる。

委員 小中一環では人が増えない、解決にならないというが、建物を建てて学校を残して欲しい。中学校の場所は、みんなに認知されている場所。小も中もそこで。子どもが少ない、予算も少ない、この地域によい学校を残したい。小中一貫にして欲しいのではない。新たに学校を建設する場合の使い方として、小中一貫も考えられるという意見である。

委員 小中で1つ作れば安く上がるという意見だと思う。少しでも早く、よいものは建ててほしい。

教育長 第1ステージ、第2ステージに分けて、まず小学校から再編の検討を進めていただくことでいかがか。統合に際しては、必要な施設整備は実施するものと考えている。

委員長 様々な意見が出されたが、この会議は、学校再編を議論していくものと考えている。施設整備については、市当局に対して別途強く要望していくことでいかがか。

委員 合併前からの町村が持っていた学校整備計画は一段落ついたのでか。

事務局 今後、耐震補強が残っている。

委員 それも目処がついた段階で、市内に12校が残る計画。5年のスパンで作れば60年かかる。新しい整備計画、立案、建設の目標年度は。期限等が伝われば不安が解消できる。

事務局 今のところできていない。これから施設整備計画を策定していく。ここがまず1次。2次も23年からスタートする。2校が40年以上経っている。どち

らかに決めるということが、次の事業実施には必要となる。

ワグザーバー 岩井小はS38年、40年に建設され、古びて見栄えが悪い。健田小は41年、白浜中は48年の建設だが、改築が実施された。岩井小は耐震工事をやってあるというだけ。どちらかに決めろといってもどちらが安全かわからない。ガラスの飛散がある。

白浜と健田は合併前の町が新市へ申し送っただけ。言わない地区が遅くなった。富山は税収で千倉の次。白浜と並んで2番目。基本計画よりも公平さ。調査費をつけて出せば議会は承認するだろう。

事務局 耐震性はあり、国の基準はクリアしている。見栄えが古いのは、一度も大規模改造事業をしてこなかったから。

ワグザーバー 改築を最優先、統合と合わせて検討していく。耐震性クリアと言ってもガラスが飛ばないか。倒壊しないというだけ。子どもの安心安全が重要。調査費を付けて調べるべき。

事務局 ガラス飛散防止対策としてはフィルム貼付による対応ができる。

ワグザーバー 応急手当ではなく、恒久的な安心安全が大事。ガラスだけでなく全ての面で安全安心を確保すべき。

委員 先ほどは、どうしたらスタートできるかという意見を言ったつもり。統合は一日も早く実施してほしいと考えている。

しかし、校舎建設は別の話し合いの場で願いたい。建て直さなければ統合しないという意見は、親としては考えていない。3年後の中学統合計画では、富山中は消える候補にもなりえるので、岩井小建設でお金を使わない方がよいのか。

また、学校建設の要望は市議に言うのかと思っていたが、「執行部に言うように」とのお話だった。執行部とは誰か？

ワグザーバー 議員はみなさんの代表。執行部は立案し、議会に対して議案として提出され、我々はそれを審議していく立場。

議員は、学校再編は必要だと思っている。ただ極端に中学がなくならないように考えることが大事。また、施設は安全なものでなければいけない。

中学の近くに、小学校を作ることも選択肢としてあるのではないか。なるべく早く安心安全なものにすべき。今からやっても3年はかかる。

一刻も早くどのくらいのを直せばよいか執行部で定め、予算計上し、それから決めても遅くない。

教育長 学校再編について異論がないという確認は頂いた。統合する前に行事の交流が必要。仮統合で1、2年前から旧校舎に入ると考えれば。第1ステージとして統合賛成、2つを1つに。第2次の千倉、和田になった時に似た問題が出て

きそう。ワザバーの言うように当然調査する。改修程度はやる。早急にと言うなら1年でできる。

委員 合併と建物についてはしょうがないと思ってきた。前回までに決まっていると聞いてきたが、来てみると意見を言えば何とかなるように伝わってくる。迷ってくる。

話が堂々巡りになるのはいけないと思う。

委員長 結論がでないようなので、この議案は次回会議へ引き継ぐ。

委員長 次に第2号議案「小学校現地見学について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 6月27日(土) 都合がつく委員での実施を提案する。

時間と経路は、12時：岩井小→終了後：平群小としたい。

委員長 異議ないか。

委員 異議なし。

委員長 次に、第3号議案「第5回検討委員会の日程について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 7月23日(木) 19時から、公民館での開催を提案する。

委員長 事務局提案に異議ないか。

委員 異議なし。

委員長 次回会議は、原案のとおりとする。

委員長 その他として、委員各位より何か意見があるか。

委員 前任者から「統合＝新築」と聞いて引き継いできたが、議事録では前任者はどんな意見を言っていたか。

事務局 該当会議の議事録により説明。

事務局 先ほど、委員より「富山中がなくなってしまう」と言ったが、中学の再編実施計画は示していない。これから計画し示していくが、どこをなくすという計画はない。市全体の中でこれから。今は全く白紙であることをご理解願いたい。

## 8. 閉会